

瀬戸内タウンミーティング

平成 25 年 8 月 17 日（土曜日）

午前 10 時～正午

牛窓公民館 3 階大会議室

参加者：男性 19 人、女性 4 人、計 23 人

【意見交換】

・人口の説明で転入者が増えていると説明があったが、老後を楽しもうとして来ている人がほとんど。若くて仕事を求めてきた人ではない。転入者が増えていて住みよい街というのは少し違うと思う。仕事もあり、いろいろな面で便利がいいから来ているわけではない。

（市長）

・牛窓地域で言うと例えばオリーブ団地には若者もいるが、全体的にみるとやはり高齢者の方が退職後に来られているケースが多いと思う。邑久や長船は若干違い、子育てするなら瀬戸内市に来ようかと言って来られている人もいる。一気に減ってしまうと色々なところにひずみが出てしまうのでバランス良く色々な年代の方々が色々なところに定住してくれるような状態をいかに作るかということをもう少し細かく見ていかななくてはならない。今、検討しているところである。高齢者の方や瀬戸内市出身の方が戻ってこられるというのもありがたいことではある。

・プレジャーボートの係留についてだが、マリーナでボートを買おうとしたが、係留場所がなければ売れないと言われた。繋いである船も 10 台に 1 台は使っていない船で沈みかけている。マリーナの人が、処理するので、場所をくださいと交渉しているそうである。公の場所だと思う。市役所に何とかならないか申し入れをしたら、回答のメールをすと言われたのだが、いまだに回答がこない。一度整理して、お金をとつてもいいからそういう人がボートに乗れる仕組みを作ってほしい。公の場所なので個人的な交渉は難しいと思うので。

また、一番大きい問題は東南海地震のとき 3 メートルとか 5 メートルの津波が想定されているが、そういったボートは係留されていないので住宅などに打ち上げられると非常に問題だと思う。災害の問題もあるので真剣に取り組んでほしい。

（市長）

・ボートの係留の関係は市では手をつけることができていない。県の方からも話があったようだが、県も財政難でできていなく、そういった話が立ち消えになっている。市が代わりに何かできるかという、今の状況だと海、港を整備するとなると相当な事業費がかかってくるので、色々な要望がある中でどれくらい優先度が高くできるかという議論しなければならない。今のままではいけないという問題意識はある。県とも話をし、考えていきたい。

・そういった施設を増やすというのではなく、まず廃船同様の持ち主の分からない船をどうにかしてほしい

(市長)

・県と話をしていく。

・地域活性化をどうしていくか。牛窓地域は過疎化指定になっているが、観光の地として動いている。今年牛窓は非常に多くの変化があり、東は牛窓神社 200 年改修事業、南は東小学校完成、北は錦海塩田堤防維持管理・環境保全を含めて市でしてもらい、西は 4 月から長船のごみを持ってきてもらっていて感謝している。今年は牛窓地区が大変な時にあると思う。

10 月には玉野の民生委員が牛窓の福祉を見にたくさん来る予定になっている。包括支援センターも今年できたし、民生委員、福祉委員、広く横の広がりをもって、高齢者の問題を話し合いたいということで来られる。民生委員・福祉委員を含めて横のつながりをもって防災の勉強会、包括支援センターの勉強会をさせてもらっている。

地域活性化というのは住民一人ひとりが意識を高めていかなければならないと思う。そのためにタウンミーティングをしているのだと思う。牛窓地区は高齢者が増え、若い人が減っていることに非常に関心が高いので市長にも努力していただいていると思う。改めて今年を考えてみたい。

(市長)

限られた人数の中で予算的にもしほりがありできないことばかりで申し訳ないと思う。いかに税収をあげていくかなど入ってくるものをどのようにすればよいか考えていかなければならない。今は自治体同士の競争になっている。また、結婚していない人が多いのでどうやって結婚につなげていくかも考えていかなければならない。

・鹿忍に住んでいる人は、沖の排水問題を心配している。ポンプももっといい

能力があるものをつけてほしいという話も聞く。南海トラフなど大きなことが起こる前に、大雨が降るのではないかと、高潮で水が来るのではないかと多くの人が心配している。

また、グリーンファーム問題で塩田があったところに水がたまっている。排水が住宅の方に来ている。個人の持ち物だからということも聞いたが、住民の安全の問題なので、市の方でなんとかしてほしい。

(市長)

・私有地なので地権者の権利を行政としてどこまで制限することができるかなどが難しい問題。円満な方向で解決できればいいと担当課も含めて話しているが具体的な話が出ていない。もう少し時間をいただきたい。

排水の問題でポンプをすえるということにもしていたが、反対意見もあり進んでいない。県との話もうまいことっていない状態。地元の皆さんと話し合いをしていきたい。

・2ヶ月に一回、医療費のかかった分の通知がくる。自分は3割負担なので、7割は国保が払っているということは、医者にかかればかかるほど国保にかかる繰出金が増えるのではないかと。

・市民病院にかかればかかるほど医療費がかかり、7割のいくらかを市が負担しているのであれば、市の持ち出しが増えるのではと思うので、いかに医療費を減らすかが必要なのではないかと。

・市民病院のあり方で、市の診療所・医院から紹介状を書いてもらえるようにするとの目標があるようだが、市民病院はあくまでも、先端医療ではなく、少し下がった位置を目標にすればよいのではないかと。市民病院は実績・人材・設備の問題があると思うのでセカンド的な位置づけをすべきではないかと。

・牛窓診療所がなくなれば、のべ万人の人が利用しているということは、その人たちが困ることなのでそういうことはなくしてほしい。牛窓地区の個人病院にない科目を充実させ、住民に認知させてはどうか。

(市長)

・国保繰り出しについては基本的には国民健康保険税でまかない、足りない分は繰り出している。瀬戸内市の国民健康保険税は高いという話も聞き、どうにか下げることができないかと思うが、将来的に医療費がかさむ中、一時的に下げると将来的に大幅に増額しなければならなくなる。

・医療費を下げるためには病院のお世話にならないことが必要で、大きな病気になる前に治療することが必要である。そのために、市民病院があると思っていて、市民病院での検診など初期の段階で対処できるようにしたい。市民病院

がうまく機能すれば、医療費も下がるのではないかと考えている。

・後方支援病院という役割として、大きい病院から退院しなければならなくなったとき、市民病院で受け入れるということをしていきたい。回復期リハビリ病棟というのを作ろうとしている。また、肺炎や内視鏡の手術など大きな病院に行くほどでもない病気について、地域の診療所などからの紹介状を書いてもらえるようにしていきたい。病院の経営と医療費抑制は相反するので難しいが、これから研究していきたい。

・牛窓診療所については、市民病院自体、医師がいなくて困っている状況。医師の確保ができれば特化していくというのものもあるかなと思う。整形外科などがあればいいとは思いますが、人材の確保の問題などで現状はできていない。可能性としてはなくはないので慎重に議論していきたい。

・宿泊、炊事などもできるので牛窓診療所をロケなどに活用できないか。

・チャレンジデーの件で勝った負けたというだけではなく、お互いが情報交換し、どういうまちなのか紹介しあってホームページなどで公開してはどうか。そういった行政マンとしての取り組みを啓発してほしい。

・ごみダイエットだが、30%の高いハードルばかりを掲げるのではなく、もっと市民に対しての参画意識をどう市民に伝えるかが重要なのではないか。毎年10%というのを5年間でしていったりすればよいのではないか。行政の視点を変え、結果ばかりを求めるのではなく、そのプロセスを大切にして担当者も楽しんでするようにすればよいのでは。理性ではなく感覚の方での仕事の仕方を指導されてはどうか。

(市長)

・診療所の活用については一つの案かと思う。介護保険の施設と組み合わせたりして残したり、民間のみなさんも活用したいというのであれば、その可能性も含め検討するのもいいかと思う。

・チャレンジデーについてはお互いの交流や情報交換などにつなげ、工夫できるか教育委員会に指示してみる。

・ごみ減量については年次計画的に考えていると思うが、その辺のやり方も工夫するように担当に話をしてみる。ごみ減量はざつ紙を中心に取り組んでいるが、ごみの新たな分別やごみ袋値上げをすればもう少し減るとは思うが、事業者の調整など表面的に見えないところの調整をしなければならない。あとは市民の方の参画意識をいかに高めるかということが必要になるので、担当に宿題として伝えたい。

・ 県民局にお願いしているが、岡大の新波止の沖に誰が置いたかわからない、たぶん船のオイル交換した廃油と思われるものが入った缶が 3 缶置きっぱなしになっている。穴が開いて海に流れては困るので市の方でも言ってほしい。

(市長)

確認します。

・ 長船町美和地区の者だが、モーモーバスを拡充してほしい。

・ 美和診療所は歯科しかないので内科もつくってほしい。図書館をゆめトピアにもってくるとか、病院は 35 年しか経っていないが、実際は 50 年も 60 年も使える。耐震補強や一部増築でしのげばよいのではないか。そうすれば建築費用も 1/2、1/3 になるのではないか。すべて新築というのではなく、立ち止まって考えてほしい。

(市長)

・ 牛窓でのモーモーバスは 1 人 1 回運ぶのに 6,800 円かかっている、目標としていたのよりかなり費用がかかっている。だが、牛窓は過疎債があるので 7 割は交付税として入っている、実質市の負担が 2000 円になっている。一人 2,000 円でも高いのでどのように単価を下げるようにもっていくかが課題である。牛窓でも市民病院までいけばもっと利用するようになるのではないかという意見もあるが、他の地区との関係もあり現状はできていない。他の地域には過疎債がないので、すべて市の負担になってくるが、今は財源が捻出できる状況にない。牛窓の単価がどこまで下がってくるかによる。利用者の数、費用を見極めながら今の方法で続けていくと先が見えにくい。牛窓でいいモデルが作れるよう努力したいが時間をいただきたい。

・ 病院の問題は市の財政的負担をいかに減らしながら続いていけるか。古いものをいくら耐震化しても耐用年数は延びないのでそれをどう考えていくかも問題。図書館は将来への負担をどう考えていくかも考えていかなければならない。